

理事寄稿

JACTFL10 周年に寄せて Message on the occasion of JACTFL's 10th anniversary

八木 智裕 YAGI Tomohiro¹

JACTFL との出会いは、2014 年 4 月山崎理事長を訪ねた時に始まります。前職最後の職務としてグループ人材育成に携わった際、自身の経験を踏まえ英語の受信力の評価結果をベースとしたグローバル人材選抜や育成に疑問を持った。その分野で先行していると感じられ、企業文化も近いサムスングループを 2012 年に訪ねた際、会話力を評価する「OPIc」テストを知った。自身の体験を通してビジネス社会での「英語」の価値や重要性は認めながらも、国際社会では特に発信力に基づく「つながり」には、現在の「英語」学習・評価において一般的な「Accuracy」一辺倒では「つながり」を培いにくく、会話等における「Proficiency」評価を適切に組み入れることにより幅広い国際社会との「つながり」を促進出来るとの考えに確信を得た。2013 年新卒入社全員への実施を通し従来のマークシート(答えが準備)テストと異なる会話型テストの意義を感じた。

言語教育の専門家でも無く畑違いを承知で、この結果や考え方を英語系学会で情報発信を行う中で、「OPIc」の評価基準となる ACTFL の理解者やグローバル人材育成に携わる方々との「つながり」が広がった。その中 JACTFL を ACTFL の日本活動団体と勘違いしてコンタクト出来たのも営業畑で培った現場主義によるものであるが、山崎理事長と巡り会え、温かく迎え入れて頂いたのは幸いであった。

その後、前職時に JACTFL に対し賛助会員制度の設立を働き掛け、毎年 3 月に実施されているシンポジウムの中で、主に「OPIc」プロモーション視点での活動や適用に参考になりそうな場を探した。ただ聴講出来る実践事例は 2~3 本に限られ、加えてインターネットベースのテストや会話型テスト「OPIc」も普及の段階で、自ずと働き掛けの対象は JACTFL 理事を中心に限られた環境であったが、理解を頂いた結果を会誌等で公開²出来、次のステップへの指針を頂いたように思っている。

¹ 所属：一般社団法人 Global8 Global Eight Institute

² 多言語学習の効用と可能性に関する一考察 八木 智裕 <http://global8.or.jp/JACTFL3.pdf>
複言語主義にもとづく「国際英語 +1 言語」教育 - 関東国際高等学校における言語文化交流会の報告 橘 広司(会誌 Vol3)

又、グローバル人材教育は日本人への英語を中心とした外国語学習だけではなく、日本在住の外国籍の人たちへの日本語教育も含まれる。その実現に寄与すべく ACTFL 等に働き掛け「OPIc」日本語の提供が可能となったのは大きな成果であり、これらの思いを「つなぐ」ために、従来とは畑違いの分野ながら 2016 年 8 月 8 日に一般社団法人 Global8 を設立し現在に至っている。

外国語学習は、コロナ禍の中でその目的・方法をも問い直す機会(期間)になったことは間違いない。一般的には逆境感で語られる中、JACTFL の活動は山崎理事長を筆頭に関係者の熱意ある問題対処能力をもって、オンラインを活用し一挙に倍増する活動を通して、東京(対面)では参加出来なかった参加者を増やすと共に、発表者にも海外から調整の難しい先生にお願いすることが出来た。勿論、参加者間の交流や発表時間外での「つながり」構築等、まだまだ対面に及ばない点はあるものの、会員数の増加等今後を期待出来る期間でもあったといえる。

2020 年 3 月総会での理事就任に加え、立ち上げた法人の方も ICT プラットフォームの更新に合わせ「OPIc」サービスで 14 言語³を同じ ACTFL 基準で評価出来るよう無事移行出来た。加えて学生の利用においても従来はオンラインサポートをしても 1 割程度の支援が必要であったが、在宅での受験を含めても 1%未満のサポートで運営出来るようになったのは、コロナ禍における ICT 環境の整備に加えリテラシー向上の賜物と感じた年でもあり、肯定的に記憶に留めておきたい。

これからの十年について思いを馳せるなら、コロナ禍で認知された ICT 対応の遅れ、DX 化の意義と言語教育を「つなぐ」には学生時代の情報工学で学んだコンピュータとの対話⁷言語⁴も化石のような存在になりつつあるが、これまでに積上げた「学び」や人間関係を活かし、Z 世代の学び方⁵を一緒に考えられると思っている。歴史も浅く淘汰の著しいコンピュータとの対話言語と異なり、歴史・文化を持つ複言語・多言語がもたらす豊かな価値観を探求しながら、自身も人生 100 年を楽しく過ごせるよう JACTFL 活動を支援していきたい。

「スペイン姉妹校との国際交流継続を目指した教師側スキルの考察」

光塩女子学院初等科・茂木 俊浩 http://global8.or.jp/Report_by_Mogi.pdf

私立小学校における外国語活動の実践報告—光塩女子学院初等科「課外スペイン語教室」
—茂木 俊浩(会誌 Vol6)

³ <http://global8.or.jp/posts/news55.html>

⁴ 学習順にアセンブリ言語, FORTRAN, PL/I, Pascal, BASIC, C, COBOL

⁵ Generation Z: Corey Seemiller, Meghan Grace (2017). Generation Z: Educating and Engaging the Next Generation of Students